

記事作成の流れ

- ① **記事の企画を考えて応募してください**  
テーマ(1ページ下段に掲載)を選んで、選考基準に沿った記事を考えてください。市への提言を含むような内容も可能です。
- ② **市民広報特派員を市が選考し、委嘱します**
- ③ **特派員と市担当者による企画の打ち合わせ**  
提案内容を元に、市民に何を訴えていくべきか、どのような内容を掲載していくべきかを打ち合わせます。
- ④ **特派員による取材・原稿の作成**  
全てを依頼してしまおうというのではなく、市の広報担当者と一緒に記事をつくっていくイメージです。
- ⑤ **市担当者による校正(紙面レイアウト)**
- ⑥ **特派員と市担当者による掲載記事の打ち合わせ**  
訴えたい内容を効果的に伝えられるかを記事レイアウトを元に検討します。
- ⑦ **庁内合意を経て、広報紙を発行します**

「市民広報特派員」募集の詳細

応募方法・任期など

**募集期間** 2月28日(日)～3月31日(日)  
**応募方法** 市役所2階広報対話室で配布する応募用紙に、記事の企画提案内容など必要事項を書いて、ご応募ください。※応募用紙は、市ホームページから出力可。ファックスでも送付します。  
**定員** 1テーマにつき1団体あるいは1人程度  
**任期** 委嘱の日(4月)から平成24年3月31日まで  
**謝礼** 10,000円 ◎詳しくは市ホームページをご覧ください。

選考基準(抜粋)

**趣旨** 提案や提言を含め、名張市総合計画「理想郷プラン」を進めていくために効果的な内容であるか。  
**独自性** 一般論でなく、市民広報特派員となる個人・団体の属性(専門性、経験、特技など)を生かした独自の視点による企画であるか。  
**地域性** 全国的な課題であっても、これを地域(名張)の問題に引き寄せて訴える内容であるか。また、地域を限定しすぎた課題でないか。  
**公益性** 名張市民の利益になるか。特定の個人・団体・地域の利益が主となる記事でないか。 など

■ 広報なばりメールサポーターとして…

「広報なばり」の記事を評価してください。

「広報なばり」が、どのように皆さんに読まれているのか、また、どんな記事が必要とされているのかを知るために、市では、電子メールを使った「広報なばり」のモニターを募集します。登録者には、電子メールを活用し、「広報なばり」に関するアンケートを配信します。アンケートは、記事が分かりやすかったか、分かりにくかったかーなど簡単なものが中心です。



「広報なばりメールサポーター」  
イメージキャラクター  
\*メルサポ大使。

**募集対象** 市内在住で中学生以上の人 ※市議会議員、市職員を除く

☎ 広報対話室 ☎ 63-7402

登録方法

①パソコンや携帯電話で市ホームページをご覧ください。注意事項を確認後、**3月15日(火)までに**、市ホームページに記載の登録用メールアドレスに電子メールを送ってください。

携帯電話端末で携帯版ホームページのURL →  
が読み取れます



※登録やアンケートへの回答は電子メールとインターネット接続環境が必要です(携帯電話端末も可)。また、通信にかかる費用はご負担ください。

②登録フォームのURLを記載した電子メールが自動返信されますので、接続いただき、必要事項を入力してください。

◆以上で登録は完了です。なお、**定員は50人です。定員に達すると、登録受付を終了します。**

謝礼

1,000円分の図書券

◆アンケートは広報なばり4月1週号以降、発行号ごとの意見聴取や記事作成前の意識調査など、50回程度。任期は、平成24年3月末までとなります。その間、**アンケートに半数以上お答えいただいた皆さんにお渡しします。**

平成22年度メールサポーターの皆さんの声

- ▼広報紙をしっかりと読むようになり、地域や市政に興味が持てました。
- ▼自分が気付かなかった問題にも目を向けるようになりました。
- ▼一緒に名張市のことを考えている感じがして、やりがいがありました。
- ▼自分の意見が広報紙に反映され、少しでも名張の役に立てたんだと実感。
- ▼多くの人がサポーターになり、市政に意見を出せるようになればいいですね。
- ▼広報紙に取り上げる内容を広く市民から聴取できれば、関心も高まりそう。
- ▼例えば、救急車有料化の是非などテーマに対する投票をしてみてもいい。
- ▼メールサポーターを集めて、生の声を聴く場を設けることも必要です。

「広報なばり」昨年10-3号が三重県広報コンクールで14年ぶりの特選!

地域での若者の活動を取り上げた特集や「市民広報特派員レポート」を掲載した昨年の「広報なばり」10-3号が、三重県広報コンクールで14年ぶりとなる特選に選ばれました。評価されたのは、「特集の着眼点が斬新で、「若者魂がまちを熱くする!」というタイトルどおり、熱い気持ちが伝わってくる」「市民の言葉を取り入れ、記事の説得力が増している」といった点でした。

この号は、全国広報コンクールでの審査を受けることとなりますが、今後も市民の皆さんのご協力をいただきながら「広報なばり」を編集していく中で、皆さんに愛され、市政と暮らしをしっかりと結び情報紙を目指します。なお、犬の殺処分現場をご紹介した昨年の9-3号も写真部門で入選を果たしました。



広報なばり各号へのアンケート結果は市ホームページで公開中です。



**獣害にお悩みの方はぜひご参加ください**  
**獣害対策研修会**

☎ 農林振興室 ☎ 63-7625

**日時** 3月13日(日)午前10時～正午  
**場所** 勤労者福祉会館(夏見)

○参加無料。申込不要  
**内容** / 講師 ▼「名張サルA・B群の生態調査報告について」/ 山田 彩さん(近畿中国四国農業研究センター)

▼「村の獣害対策(仮称)」/ 百地 三喜生さん ▼「集落ぐるみの獣害対策」/ 山端 直人さん(三重県農業研究所 主任研究員)  
**主催** 宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会